

## 第32回日本身体障がい者水泳選手権大会実施要綱

### —東日本大震災復興支援—

1. 目 的  
本大会は、全国の身体障がい者が水泳を通じて自己の有する能力に挑戦し、お互いの交流を深め、社会へ参加する意欲を大いに喚起するとともに障がい者のスポーツ振興を図ることを目的とする。また同時に、広く市民にボランティアや応援の参加を呼びかけ、障がい者への理解を深めることをも目的として開催する。特に本大会は、東日本大震災復興支援として位置づけるとともに、平成28年度岩手県で開催される全国障がい者スポーツ大会に向けての運営準備の一助とする。さらに東京2020五輪・パラリンピックへつながる大会とする。
2. 主 催  
一般社団法人 日本身体障がい者水泳連盟
3. 主 管  
第32回日本身体障がい者水泳選手権大会実行委員会
4. 協 力  
(予定)  
一般財団法人宮城県水泳連盟、仙台市水泳協会、利府町水泳協会、東北身体障がい者水泳連盟  
東北福祉大学、東北学院大学、仙台高等専門学校、みやぎ身体障害者水泳協会  
宮城県障害者スポーツ協会、障害者スポーツ指導者協議会
5. 後 援  
(予定)  
文部科学省、厚生労働省、内閣府、(公財)日本障がい者スポーツ協会、日本障がい者水泳協会  
(公財)日本水泳連盟、(社福)日本身体障害者団体連合会、(社福)全国社会福祉協議会  
宮城県、利府町、(公財)宮城県体育協会、(社福)宮城県社会福祉協議会  
(社福)宮城県身体障害者福祉協会、(社福)仙台市障害者福祉協会
6. 協 賛  
(予定)  
東燃ゼネラルグループ、大塚製薬(株)、(株)ヒカリスports、(株)グロリアアーツ、  
DHL サプライチェーン(株)、タキロンマテックス(株)、ヤマハ発動機株式会社
7. 期 日  
平成27年11月7日(土)～11月8日(日)  
クラス分け11月6日(金)12時～
8. 会 場  
宮城県総合運動公園総合プール(セントラルスポーツ宮城G21 プール)  
(50m×8レーン)  
〒981-0122  
宮城県利府町菅谷字館40-1  
TEL022-356-1122  
FAX022-356-1123  
[http://www.mspf.jp/grande21/index.php?action=sisetu\\_shoukai\\_pool](http://www.mspf.jp/grande21/index.php?action=sisetu_shoukai_pool)
9. 競技方法  
(1) 個人種目は、男女別に行う。  
(2) 個人種目は、すべてタイムレースとする。  
(3) リレーは、予選・決勝を行う。
10. 競技種目  
別紙「競技種目一覧表」のとおり

11. 競技順序 15. 日程（４）競技日程のとおり

12. 競技規則 IPC-SW 競技規則および本大会要綱等による。

13. 参加資格および制限

（１）参加資格 個人種目は、下記「①②③」または「①②④」のいずれかに該当する者。リレーは、下記①②を満たしている者。

①平成27年度日本身体障がい者水泳連盟登録者。

②肢体不自由者および視覚障害者は、日本身体障がい者水泳連盟が認めたクラス分けをすでに受けている者。（国際公認を予定しているため、クラス分け結果ステータスJLの選手は出場できない）

③下記の大会において、1種目以上別紙の参加標準記録に達している者。

- ・第25回東北障害者選手権水泳競技大会
- ・第29回関東身体障害者水泳選手権大会
- ・第22回中部障がい者水泳選手権大会
- ・第26回近畿身体障害者水泳選手権大会
- ・第21回中国四国身体障害者水泳選手権大会
- ・第26回九州障がい者水泳選手権大会

④日本身体障がい者水泳連盟から推薦を受けた者。

（２）制限

①個人種目は、1人2種目以内とする。ただし、リレーは含めない。

なお、本年度当連盟強化指定選手は、地域大会で突破した種目にこだわらず3種目までエントリーできる。また、特例として400m自由形を種目設定している。

これにはS6～10、S11・13の選手で国際ライセンス登録をしているもののみエントリーできる。

②リレーは、登録団体対抗とし、1団体1種目2チーム以内とする。

（３）留意事項

①シニア部門（大会1日目現在で満50歳以上の方）について

ア、種目は、50mの自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの4種目を実施する。

イ、一般の部の参加標準記録を達成している場合は、一般の部・シニアの部のいずれかを選択して出場することができる。

②1種目のみ参加標準記録を達成している者の中で、2種目目の出場を希望する者は、参加標準記録を達成していなくても出場することができる。ただし、競技の進行に支障があると審判長が判断した場合、競技を中止させることがある。

③大会で実施する各リレーはポイント制を採用する。28ポイントリレーと38ポイントリレーの両方に同一選手が参加することはできない。

14. 表彰

（１）男女別、種目別、およびリレー種目で1位、2位、および3位の選手にメダルを授与する。ただし、参加申込者が2名（チーム）までの種目は1位のみ、3名（チーム）の種目は2位までにメダルを授与する。

（２）リレー優勝チームには優勝トロフィーを授与する。（取りきり）

（３）オープン競技にもメダルを授与する。

（４）完泳者全員に記録証を発行する。

15. 日程

- (1) 受付時間            11月7日(土) 9:30 ~  
                             11月8日(日) 8:30 ~
- (2) 練習時間            11月7日(土) 9:50 ~11:00  
                             11月8日(日) 9:00 ~ 9:50
- (3) 監督会議            監督会議は行わない

(4) 競技日程

競技順序	
11月7日(土) <1日目>	11月8日(日) <2日目>
開会式 11:20	競技開始 10:00
競技開始 12:00	23. 200mリレー 28p 予選
1. 女子400m自由形	24. 200mリレー 38p 予選
2. 男子400m自由形	25. 女子 200m 自由形
3. 女子 200m 個人メドレー	26. 男子 200m 自由形
4. 男子 200m 個人メドレー	27. 女子 100m バタフライ
5. 女子 150m 個人メドレー	28. 男子 100m バタフライ
6. 男子 150m 個人メドレー	29. 女子 100m 背泳ぎ
7. 200mメドレーリレー 28p 予選	30. 男子 100m 背泳ぎ
8. 200mメドレーリレー 38p 予選	31. 女子 50m 平泳ぎシニア
9. 女子 50m 背泳ぎシニア	32. 女子 50m 平泳ぎ
10. 女子 50m 背泳ぎ	33. 男子 50m 平泳ぎシニア
11. 男子 50m 背泳ぎシニア	34. 男子 50m 平泳ぎ
12. 男子 50m 背泳ぎ	35. 女子 50m 自由形シニア
13. 女子 50m バタフライシニア	36. 女子 50m 自由形
14. 女子 50m バタフライ	37. 男子 50m 自由形シニア
15. 男子 50m バタフライシニア	38. 男子 50m 自由形
16. 男子 50m バタフライ	39. 200mリレー 28p 決勝
17. 女子 100m 自由形	40. 200mリレー 38p 決勝
18. 男子 100m 自由形	閉会式
19. 女子 100m 平泳ぎ	
20. 男子 100m 平泳ぎ	
21. 200mメドレーリレー 28p 決勝	
22. 200mメドレーリレー 38p 決勝	

注1：今年度400m自由形を実施するが、参加できるのは国際ライセンス登録を  
しているもので、S6～S10、S11・S13のクラスとする。標準記録は設定していない  
注2：申込状況などにより、一部変更することがある。

- (5) J-FCS クラス分け 11月6日(金) 12:00~(予定) ※受検可能な選手には別途案内がある。

16. 本大会におけるJ-FCS クラス分けについて

(1) 下記①②③の条件をすべて満たす選手はクラス分けに申し込まなければならない。

①2014年度第31回日本身体障がい者水泳選手権大会で1位の選手

\*当連盟ホームページで確認のこと

<http://paraswim.jp/wp/wp-content/uploads/2014/11/2ea8a25fd5615d96e9a5d9db967e33031.pdf>

②肢体不自由者(S・SM1~10, SB1~9)の選手

③クラスステータスが「L」の選手

(2) 肢体不自由(S21を含む)でステータス「L」の選手は希望すれば申し込むことができる。

(3) 対応できる人数に限られるため、申込多数の場合は、今回受検できないことがある。そのため、クラス分けテストの受検の可否については別途連絡する。また指定された実施時間の変更はできない。申込者は前もって金曜日の日程を調整しておくこと。

\*なお、クラス分けテスト受検の優先順位は概ね、①連盟が指定した選手、②100m以上の種目で上位の選手、③住居地が開催地に近い選手の順で優先する。

(4) クラス分け受検については下記をよく読み、理解して受検すること。

クラス分けを受検する肢体不自由の選手は100m平泳ぎ(SB1~3は50m平泳ぎ)とS種目100mをエントリーしなければならない。

「競技とクラス分け」…競技とは障がいを克服し、持てる能力をすべて発揮して行うものである。競技と同様に、すべてのクラス分け手順においてクラス分けに協力し、自分の持ちうる能力を発揮しなければならない。もし、クラス分けに協力しない、あるいは各テストで整合性が取れない、障がい安定していない等と判断された場合は「クラス分け中止」ないし「クラスなし」となることがある。この場合、大会には参加できるが、表彰はなく、記録は公認されない。なお、クラス分けに際し診断書の提出を指示されたものは提出しなければならない。クラス分けテスト中は選手側のコーチやクラブメンバー、保護者などから1名、立ち会わなければならない。クラス分けはクラス分けの諸手続きからテストならびに競技観察まで含まれる。

(5) 選手のクラス評価は今回のクラス分け受検者以外の選手についても、競技全般を通じて実施する。競技観察の結果クラス分け委員から指示があれば、選手はその指示に従わなければならない。

## 17. ドーピング検査 (以下、JADAからの注意喚起文による)

- 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- 大会期間中現在で未成年者(20歳未満)については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる。
- 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

## 18. 免責事項

(1) 参加者の健康管理は、本人の責任とし各自十分注意すること。

(2) 会場における事故などについては応急処置のみとし、その他の責任は負わない。

## 19. 申込規定

- (1) 申込方法   ◇団体 別紙「団体用参加申込要領」を参照に申し込むこと  
                  ◇個人 別紙「個人用参加申込要領」を参照に申し込むこと
- (2) 申込先     〒651-0085 神戸市中央区八幡通4丁目1-15 成樹ビル303  
                  第32回日本身体障がい者水泳選手権大会実行委員会  
                  \*申し込み書の送付は必ず、郵送で行うこと（切手などをご負担願います）
- (3) 問合せ     下記にファックスまたはE-mailにて問い合わせること。  
                  FAX: 078-855-6621    E-mail: [moushikomi@paraswim.jp](mailto:moushikomi@paraswim.jp)

## (4) 参加費

- 個人種目     1種目参加：2,000円，2種目参加：3,000円，3種目参加：4,000円  
リレー種目   1チームにつき 3,000円  
\*参加費の納入は、下記指定口座への振込のみとする。その他の方法では受け付けない。

振込先 ① 郵便局ゆうちょ銀行からの振込み

記号 14220 番号 5189181

シャ)ニホンシンタイショウガイシャスイエイレンメイ

② ①以外の金融機関からの振込み

店名 四二八 (読み ヨンニハチ), 店番 428 , 預金種目 普通預金

口座番号 0518918

- (5) 締切日     平成27年9月4日(金曜日)必着  
                  \*締切後の追加申込・変更等は受け付けない。  
                  \*納入された参加料等は原則返金しない。

(6) 宿泊       斡旋はしない

(7) 昼食       希望者は、申込書に必要な数を記入すること。弁当1個700円

(8) その他     プログラム 参加選手一人に一冊無償で配布予定

## 20.その他留意事項

- (1) ジャパンパラ水泳競技大会出場レベルの知的障害者を対象として参加を認める。対象者へは(一社)日本知的障害者水泳連盟より別途通知がある。知的障害者の実施種目については、別紙「競技種目一覧表」で確認すること。
- (2) 本大会の記録は 国際大会出場選手など選考の参考記録にする
- (3) 水着については、原則としてFINA及びIPC-SWの規則に従う(従来の緩和規程は廃止する)**
- (4) 本大会では、ユーストリームによる中継を行う。誰もがインターネット等で競技を見ることができ理解の上、参加すること。
- (5) 今回は、監督会議は行わないので、ホームページに掲載される注意事項を良く読んでおくこと。**  
また、当日必要な連絡事項は、アナウンスとともに会場に掲示する
- (6) その他、大会の開催について必要な事項は、第32回日本身体障がい者水泳選手権大会実行委員会が定める。